

☆インサート成形技術のご紹介☆



当社では、インサート成形技術を活用し、車載用途向けセンサーケースの製造を行っています。その特長についてご紹介します。

インサート成形とは？

インサート成形とは、ターミナル(プレス部品)や電子部品(IC、コイル、インシュレータ等)など、あらかじめ準備した部品を金型の中にセットし、樹脂を射出して一体化させる成形方法です。



☆当社のインサート成形技術特長☆

当社のインサート成形品は、多いもので8点の部品を同時にセットし、PPS/PBTなどの高機能エンブラ、熱可塑性樹脂を使用します。

☆量産安定性と品質への取り組み☆

量産工程においては、強みである金型技術と独自の条件管理により、寸法精度のバラつきを抑制しています。

また、靱性を強化するためエラストマー等を配合したPPSを使用する機会が多く、金型を腐食するガスの発生が課題となります。これらを抑制するため、ガス抜き構造金型を駆使し、高品質な成形品を提供しています。

☆実績と信頼☆

車載用途を中心に長年の取引実績があり、国内で高い信頼を得ています。

